

八峰白神ジオの恵みプロダクトの紹介



八峰町ならではの食の魅力を紹介する「ジオの恵みプロダクト」を開始しました。参加していただいた商品を紹介します。

【ちそうソフト】



成田 祐子 さん

断面が地層（ちそう）のように見えるちそうソフトは、小豆と塩のミックスソフトです。コロナに負けずに元気に営業中なのでぜひ来てください！

産直施設 おらほの館
住所 八峰町峰浜沼田字ホンコ谷地147-6
電話 0185-76-4649
営業時間 4月～11月…9:00～18:00
12月～3月…9:00～17:00

今後も「八峰白神ジオの恵みプロダクト」を募集します。詳細はお問い合わせください。

■問合せ先 八峰白神ジオパーク推進協議会事務局（八峰町産業振興課内）
☎ 0185-76-4605 FAX 0185-76-2203

暮らしの豆知識



契約ってなんだろう？

みなさんは「契約」ってどんなものか知っていますか？
実は私たちは、日常生活の中でたくさんの契約をしています。
例えば、電車に乗る、美容院で髪を切る、スーパーでお買い物をする。これらは全て契約です。

契約は、「これください」という申込みと、「はい、ありがとうございます」という承諾によって、**お互いの意思が合致したときに成立します。**

つまり、**契約は原則として口頭でも成立してしまいます。**（※保証契約などの場合を除きます）
また、一度結んだ契約は、**原則どちらかの都合で勝手にやめることはできません。**

よく分からないままうなずいているうちに後でトラブルとなってしまうケースも少なくありません。迷ったり、困ったりした場合はその場ですぐに返事をせず、よく検討することが大切です。

消費者トラブルにあったら、1人で悩まず相談してください。

●八峰町消費生活相談窓口（産業振興課） ☎ 0185-76-4605

E-mail: sangyo@town.happou.akita.jp

●秋田県生活センター北部消費生活相談室 ☎ 0186-45-1040

八峰白神ジオパーク

連載 121回



事務局

八峰町産業振興課 ジオパーク推進係
☎ 0185 (76) 4605 FAX 0185 (76) 2203
HP <http://www.shirakami.or.jp/~happo-sh-geo/>



Happo-Shirakami Geopark

白神山地の恵みに生きる

ジオパークには欠かせない大地で暮らす人々
地域の人話を聞いて、大地と人のつながりを考えます

いろいろなお客さんとの出会いが楽しみ



ぶなっこランドで

話をしてくれた人

渡辺 明 わたなべ あきら さん
昭和17年、旧琴丘町生まれ。中浜在住。国鉄・JRに38年間務めた後、町内の植樹、ガイド活動を積極的に行っている。趣味は読書と登山。

○干拓工事と国鉄の仕事

昭和33年頃から八郎潟の干拓工事があって、半年間、干拓事務所に入りました。そして、干拓も終わりが見えてきて、「お前たち有明海に行かないか」と言われたんです。有明海でも干拓事業があり、仲間が何人か行って、当時は管轄が農林省であったので、役人になって秋田に帰ってきた仲間が何人かいます。私は一人っ子だったから、親に「九州さ行って戻ってこなければ大変だ」って反対されて国鉄に入ることにしました。

国鉄入社と同時に八森駅に勤務したんです。八森は山も海もあるし私の趣味にばっちり合った場所でした。当時、駅の業務としては乗車券の販売や貨物の発着作業などの仕事がありました。まだトラックがなく、物流はみんな国鉄だったんです。ハタハタから肥料からセメントから、なんでも国鉄の貨車で運ぶ時代でした。

昔は出稼ぎが盛んで、布団とか着替えを全部自分で持って行きました。東京に行く時は、布団袋に布団一式を簡単にまとめて入れることができたんです。それが30kgまでの制限でした。それで、出稼ぎに行くときも帰ってくる時もみんな時期が重なるから、30kgの荷物が20も30も来たんです。特に八森駅は、駅が下にあつてホームが上にあるから、その分上げ下げしなければならぬので、他よりも大変な駅でした。今の時代はその日のうちに東京に着くけど、当時は3日も4日もかかって東京に行ったんですよ。

○何度もガイドしたニツ森

JRを退職した時、白神山地が世界遺産に指定されていました。山が好きだったから、誘われたわけではないけどガイドをやってみようかなと。今は2人とか3人とか少人数で白神に来るのが主流だけど、昔はバスに乗って団体で来たものでした。お客は多いけど、ガイド料は安くて、ニツ森のガイドは、今は9,000円だけど、当時は3,000円くらいでした。ある年、ガイド仲間から「ニツ森は渡辺が全部やってくれ」って言われて。体力もあったし、一日に2回登ったことも珍しくありませんでした。

ニツ森は今も登っています。去年は3回登ったかな。15年お付き合いしている横浜のお客さんがいます。最初はニツ森を案内したお客さんでした。絵を描く人で、十二湖の池を毎年来て描くんです。私が絵を描く時の見張りとして、3時間から4時間、絵が出来るまで座って。ガイドをしているといろんな人と会えて楽しいですね。



ニツ森のガイドの様子